

質問回答

NO.	質問	回答
1	1 仕様書 2 ページ c) 防除手法 音声再生装置 酒田市におけるウシガエル防除において使用を予定している音声再生装置についての具体的な仕様・利用機材メーカー、機器情報を戴きたい。	15時間以上の連続再生が可能な音声再生装置で、防水性能を有するまたは防水対策を施した機器を想定する。その他の詳細は担当官と協議の上決定する。
2	2 仕様書 2 ページ c) 防除手法 音声再生装置 音声発生装置の稼働時間（音声発生時間）は1日あたり何時間を見定させているでしょうか。	午後に設置し、翌早朝まで稼働することを想定する。具体的には15時間程度。
3	3 仕様書 2 ページ c) 防除手法 音声再生装置 音声発生装置は、設置から次回調査・回収までの間、毎日稼働させる必要があるでしょうか。また、設置から次回調査・回収までの期間は何日間を想定されているでしょうか。	音声再生装置は、トラップ設置期間中、毎日稼働させる想定ではない。トラップの設置回収の期間は通常10日程度とするが、音声再生装置の効果検証のため、仕様書2.(2)1に記載の全体の作業日数12日間のうち、1回以上は1～2日で回収を行うことを想定する。具体的な調査日程は担当官と調整する。
4	4 仕様書 2 ページ c) 防除手法 「過年度業務において試行及び情報収集を行ったルアー、発光ダイオード、音声再生装置等のウシガエルを誘引する技術」については、受託後、開示して戴けるものとして理解して宜しいでしょうか。	基本的にはルアー、発光ダイオード、音声再生装置をそれぞれアナゴかごと組み合わせた簡易的な装置を想定している。仕様書に記載の通り、ルアーと発光ダイオードを用いたトラップについては過年度業務で作成したものを作り出すものとし、請負者負担分は同等のトラップを作成するものとする。その他、基本的には過年度報告書に従い、担当官と協議の上決定する。
5	5 仕様書 2 ページ c) 防除手法 上記質問の1～4の情報開示がなされない場合、独自作成による作成になるでしょうか。	上記の通り、基本的には過年度報告書に従い、担当官と協議の上、作成方法、設置方法を決定する。
6	6 本業務について入札締め切り5月23日となっております。契約後の準備を含め、5月中の現地設置、及び専門家2名による現調確認について、実施時期変更等の仕様変更は可能でしょうか。	契約後すみやかに業務開始するものとするが、仕様書2.(2)の防除や専門家の現地確認について、5月中の実施が難しい場合は担当官と調整を行うものとする。
7	7 仕様書 P3、P6、〈記録するデータ〉 ・作業の際に確認された希少水生生物の生息状況（種名、幼体・成体等の形態）とありますが、「作業」についての範囲をご教授戴きたく。	仕様書2.(2)1)①、2)①に含まれるトラップの設置回収等の作業中に目視等で確認された希少水生生物の生息状況を記録することを想定している。積極的に希少水生生物の調査を実施することを想定するものではない。
8		
9		
10		